



# 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 大和工業株式会社  
コード番号 5444 URL <http://www.yamatokogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 浩行  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 吉田 隆文

TEL 079-273-1061

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	105,391	△9.0	8,478	11.4	18,351	△10.3	10,615	△14.8
28年3月期第3四半期	115,864	△18.7	7,612	17.4	20,449	18.9	12,456	22.6

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △25,896百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 4,992百万円 (△77.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	158.71	—
28年3月期第3四半期	185.42	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	315,902	278,096	82.4
28年3月期	346,698	307,857	83.2

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 260,402百万円 28年3月期 288,550百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
29年3月期	—	25.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	△7.3	9,500	△15.3	20,000	△25.2	11,000	△26.1	164.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	67,670,000 株	28年3月期	67,670,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	783,907 株	28年3月期	783,611 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	66,886,245 株	28年3月期3Q	67,181,245 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営環境は、スクラップ価格上昇の影響を受ける状況で推移しました。また、中国による鋼材輸出は依然として高水準となっており、海外市場が大きなウェイトを占める当社グループに多大な影響を与えております。

日本におきましては、スクラップ価格が上昇する中で、製品価格の改定をお願いしており、実需に見合う生産・販売に努めております。また、造船所向けの船尾骨材等につきましては、国際的な海運市況の低迷から造船所の新規受注が落ち込んでおり、当社の製品も数量・価格とも厳しい状況が続いております。

連結子会社を有する韓国、タイ国、また持分法適用関連会社を有する米国、バーレーン王国、サウジアラビア王国におきましては、いずれも2016年1月～9月の業績が当第3四半期連結累計期間に反映されます。

韓国のワイケー・スチールコーポレーションでは、2015年6月頃から始まったアパート建設に伴う鉄筋需要は徐々に弱くなってきており、当第3四半期の業績は上期に比べ落ち込んでおります。

タイ国のサイアム・ヤマト・スチールカンパニーリミテッドでは、タイ国内景気の低迷により、建設投資の盛り上がりには欠ける状況が続いております。上期にはスクラップ価格上昇局面での一時的な駆け込み需要がありましたが、第3四半期に入り、その反動から販売トン数、利益ともに上期に比べ減少しております。

米国の持分法適用関連会社につきましては、スクラップ価格上昇の影響を受けてはいるものの、一定の収益を確保しております。

バーレーン王国の持分法適用関連会社スルブカンパニーBSC(c)では、石油価格の回復が進まないなか、政府支出が低調となっていることを背景に需要の停滞が続いており、また、中国等からの安価な鉄鋼製品・半製品の流入がもたらす市況の低迷は変わらず、非常に厳しい状況が続いております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間と比べ10,472百万円減の105,391百万円となりました。利益につきましては、営業利益は前第3四半期連結累計期間と比べ865百万円増の8,478百万円、経常利益は前第3四半期連結累計期間と比べ2,097百万円減の18,351百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第3四半期連結累計期間と比べ1,840百万円減の10,615百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における海外子会社、関連会社の財務諸表から連結財務諸表の作成にかかる期中平均の為替レートは次のとおりです。

(海外各社の当第3四半期累計期間は平成28年1月～9月)

108.85円/米ドル、3.09円/パーツ、10.67ウォン/円

また、前第3四半期連結累計期間における期中平均の為替レートは次のとおりです。

(海外各社の前第3四半期累計期間は平成27年1月～9月)

120.91円/米ドル、3.57円/パーツ、9.28ウォン/円

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の変動

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、為替変動の影響により在外子会社の資産が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ30,796百万円減少の315,902百万円となりました。

負債につきましては、借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,035百万円減少の37,806百万円となりました。

また、純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加、配当金の支払による減少の他、為替換算調整勘定が36,076百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ29,760百万円減少の278,096百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末における海外子会社、関連会社の財務諸表から連結財務諸表の作成にかかる為替レートは次のとおりです。

(海外各社の当第3四半期会計期間末は平成28年9月末)

101.12円/米ドル、2.91円/パーツ、10.84ウォン/円

また、前連結会計年度末における為替レートは次のとおりです。

(海外各社の前会計年度末は平成27年12月末)

120.54円/米ドル、3.35円/パーツ、9.72ウォン/円

## ②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主に税金等調整前四半期純利益と米国の持分法適用関連会社からの現金分配により、営業活動による資金は11,626百万円増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に定期預金の預入による支出により、投資活動による資金は13,434百万円減少しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に配当金の支払、長期借入金の返済による支出により、財務活動による資金は4,651百万円減少しました。

以上に現金及び現金同等物に係る換算差額△1,307百万円を加味し、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ7,767百万円減少の24,773百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中国による安価な鉄鋼製品・半製品の輸出は、世界の鉄鋼市況を低迷させております。中国における鉄鋼製品の生産能力削減が報じられておりますが、2016年の鉄鋼生産量、輸出量とも2015年と大きくは変わらず、依然として中国からの過剰な輸出が続いております。このような供給過剰状態はグローバルに事業を展開する当社グループに多大なる悪影響を及ぼし続けます。また石油価格の低迷が続けば、中東での需要面では大きなマイナス要因が続くこととなります。

通期連結業績予想につきましては、2016年末にかけ為替が円安に動いたことや、第3四半期までの各社の業績と今後の見通しを踏まえ、第2四半期決算発表時点(平成28年10月31日公表)の予想数値を見直した結果、売上高は1,400億円(前回予想比30億円増)、営業利益は95億円(前回予想比5億円増)、経常利益は200億円(前回予想比15億円増)、親会社株主に帰属する当期純利益は110億円(前回予想比15億円増)といたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に当社が取得する建物附属設備並びに一部の連結子会社が取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	112,455	86,042
受取手形及び売掛金	21,432	25,205
有価証券	-	12,200
商品及び製品	9,769	10,142
仕掛品	407	422
原材料及び貯蔵品	15,773	15,490
その他	2,761	2,311
貸倒引当金	△12	△16
流動資産合計	162,586	151,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,917	12,162
機械装置及び運搬具(純額)	28,812	25,183
土地	16,949	15,696
建設仮勘定	1,886	2,811
その他(純額)	220	278
有形固定資産合計	61,784	56,131
無形固定資産		
のれん	1,258	989
その他	369	304
無形固定資産合計	1,628	1,293
投資その他の資産		
投資有価証券	47,229	38,133
出資金	52,029	44,439
関係会社長期貸付金	6,568	10,896
長期預金	12,105	10,181
退職給付に係る資産	2,055	2,059
その他	927	1,184
貸倒引当金	△216	△216
投資その他の資産合計	120,699	106,679
固定資産合計	184,112	164,104
資産合計	346,698	315,902

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,350	10,197
短期借入金	1,675	582
未払法人税等	1,282	230
賞与引当金	507	682
その他	9,316	10,907
流動負債合計	23,131	22,601
固定負債		
繰延税金負債	11,592	10,889
役員退職慰労引当金	1,409	1,506
退職給付に係る負債	2,648	2,737
その他	59	71
固定負債合計	15,709	15,205
負債合計	38,841	37,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,996	7,996
利益剰余金	251,941	259,234
自己株式	△306	△307
株主資本合計	259,632	266,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,414	4,054
為替換算調整勘定	25,642	△10,433
退職給付に係る調整累計額	△139	△143
その他の包括利益累計額合計	28,917	△6,521
非支配株主持分	19,306	17,694
純資産合計	307,857	278,096
負債純資産合計	346,698	315,902

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	115,864	105,391
売上原価	98,511	86,784
売上総利益	17,352	18,607
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	4,425	4,476
給料及び手当	1,286	1,286
賞与引当金繰入額	246	246
退職給付費用	78	120
役員退職慰労引当金繰入額	147	127
その他	3,555	3,871
販売費及び一般管理費合計	9,739	10,129
営業利益	7,612	8,478
営業外収益		
受取利息	698	1,065
受取配当金	841	216
持分法による投資利益	10,725	7,546
為替差益	-	677
その他	833	477
営業外収益合計	13,099	9,983
営業外費用		
支払利息	125	37
その他	136	73
営業外費用合計	262	110
経常利益	20,449	18,351
特別利益		
固定資産売却益	4	9
その他	-	1
特別利益合計	4	10
特別損失		
固定資産除却損	136	70
関係会社株式売却損	530	-
その他	8	-
特別損失合計	674	70
税金等調整前四半期純利益	19,778	18,292
法人税、住民税及び事業税	7,620	6,433
法人税等還付税額	△1,025	-
法人税等調整額	△475	△296
法人税等合計	6,119	6,136
四半期純利益	13,659	12,155
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,202	1,539
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,456	10,615

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	13,659	12,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	641
為替換算調整勘定	△8,064	△24,102
退職給付に係る調整額	△77	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△435	△14,586
その他の包括利益合計	△8,667	△38,051
四半期包括利益	4,992	△25,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,771	△24,823
非支配株主に係る四半期包括利益	△779	△1,072

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,778	18,292
減価償却費	4,793	4,080
受取利息及び受取配当金	△1,539	△1,282
支払利息	125	37
持分法による投資損益(△は益)	△10,725	△7,546
売上債権の増減額(△は増加)	△1,409	△4,989
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,584	△2,470
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,772	683
その他	980	440
小計	19,815	7,243
利息及び配当金の受取額	9,850	11,511
利息の支払額	△99	△38
法人税等の支払額	△7,272	△7,090
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,293	11,626
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11,491	△20,762
定期預金の払戻による収入	17,100	13,591
有形固定資産の取得による支出	△3,349	△2,663
投資有価証券の売却による収入	-	384
関係会社貸付けによる支出	△4,084	△3,834
その他	△59	△150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,884	△13,434
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△999	△927
自己株式の取得による支出	△2,225	△0
配当金の支払額	△2,538	△3,171
非支配株主への配当金の支払額	△617	△540
その他	△14	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,395	△4,651
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,003	△1,307
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,010	△7,767
現金及び現金同等物の期首残高	12,783	32,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,793	24,773

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	鉄鋼事業 (日本)	鉄鋼事業 (韓国)	鉄鋼事業 (タイ国)	軌道用品 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	32,100	32,346	47,047	4,167	115,662	201	115,864	—	115,864
(2)セグメント間 の内部売上高又は 振替高	248	—	—	—	248	—	248	△248	—
計	32,348	32,346	47,047	4,167	115,910	201	116,112	△248	115,864
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	4,767	△945	4,368	476	8,667	21	8,689	△1,076	7,612

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、医療廃棄物処理、不動産事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,076百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	鉄鋼事業 (日本)	鉄鋼事業 (韓国)	鉄鋼事業 (タイ国)	軌道用品 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	29,620	29,802	41,355	4,401	105,180	211	105,391	—	105,391
(2)セグメント間 の内部売上高又は 振替高	282	—	—	—	282	—	282	△282	—
計	29,902	29,802	41,355	4,401	105,462	211	105,674	△282	105,391
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	3,296	1,071	4,824	656	9,848	△2	9,846	△1,367	8,478

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、医療廃棄物処理、不動産事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,367百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。